

ひろしまにホームホスピスができるまで、これから

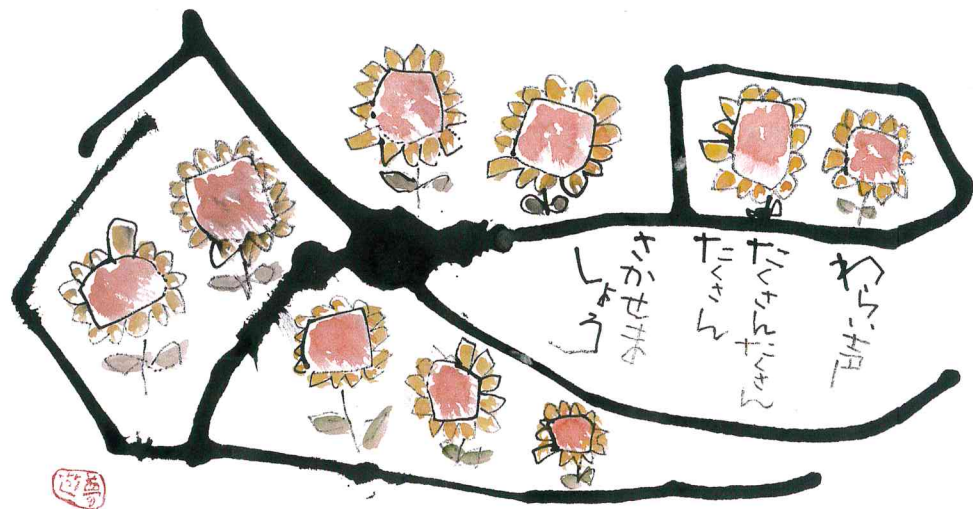
ホームホスピスは2004(平成16)年に宮崎市から始まりました。この活動を初めて知ったのは、2005(平成17)年にさかのぼります。この年の6月18-19日に日本ホスピス・在宅ケア研究会第13回広島大会が開催されました(大会運営スタッフとして栗山恵子、松原みゆき参加)。その中で、「ホスピスの多様化」というテーマでシンポジウムがもたれ、そこに在宅ホスピスを推進している医師やデイホスピスを進めている看護師らとともに、シンポジストの一人として市原美穂さんが、市民ボランティアを中心に運営するホームホスピスの取り組みについて発表されました。

この当時、ホスピス(緩和ケア)を実践しているのは病院が中心でしたが、その一方で、個々の患者のニーズや地域の特性にあった形態のホスピスが模索され始めていました。私たちは、医療職でなくてもホスピス運動に主体的に運営・参加できるということに、驚きをもって市原さんのお話を聞きました。

そして、私たちもホームホスピスを開設したいという思いを持ちつつ、2011年11月にやっと宮崎の「かあさんの家」の見学に行くことができました。2012年12月1日には、広島最初のホームホスピス、むかいやままるんの家向山を開設しました(代表:栗山恵子)。2014年4月には、広島市南区にホームホスピスゆずの家(代表:亀田浩子)を開設しました。ともにホームホスピス全国合同研修会に参加し仲間づくりをしながら、同時に広島でも小規模ですが、ホームホスピスの活動報告と啓発を目的とした講演会を年に1回開催し、研鑽を続けてきました。2016年4月には、ホームホスピスマろんの家の2軒目、中郷を立ち上げ、広島でもホームホスピスの理念に共感する仲間が少しずつ増えつつあります。今後も啓発活動をしていきたいと考えます。

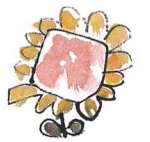
広島で具体的にホームホスピス開設を検討し始めてから5年が経ち、このたび、その歩みを振り返り、まとめました。これから、全国のホームホスピスの活動と連動しながら、広島でも一步一步、個々のニーズに合ったもう一つの我が家、ホームホスピスを続けて参りたいと思います。今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2017年1月記 松原みゆき



©アトリエ遊夢キムラナオコ

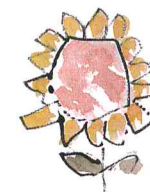
広島ホームホスピス、私たちのあゆみ



- 2011年11月 宮崎市のホームホスピスカあさんの家 見学
- 2012年11月23-24日 第1回ホームホスピス全国合同研修会「暮らしの中で“死にゆくこと” in 熊本」参加
- 2012年12月1日 ホームホスピスマろんの家 向山開設。代表:栗山恵子。
- 2013年11月9-10日 第2回ホームホスピス全国合同研修会「暮らしの中で“死にゆくこと” in 宮崎」参加
- 2014年4月1日 ホームホスピスゆずの家 開設。代表:亀田浩子。
- 2014年12月5-6日 第3回ホームホスピス全国合同研修会「暮らしの中で“死にゆくこと” in 神戸」参加
- 2014年12月14日 第1回ホームホスピス広島地区講演会を開催 テーマ「高齢者の生き方と終の住処を考える」
基調講演「老いに寄りそい、病に連れそうー老いと死から逃げない生き方」
講師:中村仁一氏(社会福祉法人「同和園」付属診療所長)
シンポジウム「もうひとつの我が家としてのホームホスピス」
シンポジスト:栗山恵子、亀田浩子、松原みゆき
- 2015年11月28日 第2回ホームホスピス広島地区講演会開催 テーマ「新たな終の住み家」
基調講演「あなたは最晩年期を誰に支えてもらいますか?ー女性のうち5割、男性で2割の人が90歳まで生きる時代に」
講師:春日キスヨ氏(臨床心理学者、高齢社会をよくする女性の会・広島代表) なかごう
シンポジウム「新たな終の住み家~ホームホスピスという選択」
シンポジスト:栗山恵子・亀田浩子・松原みゆき
- 2015年12月5-6日 第4回ホームホスピス全国合同研修会「暮らしの中で“死にゆくこと” in 熊本」参加
- 2016年4月 ホームホスピスマろんの家 中郷開設
- 2016年11月20日 第3回ホームホスピス広島地区講演会を開催 テーマ「新たな終の住み家」
講演会「人生100年時代の終活とは?ーあなたは最晩年期をどう生きぬきますか」
講師:春日キスヨ氏(臨床心理学者、高齢社会をよくする女性の会・広島代表)
シンポジウム「家で最期まで過ごしたい人へ~ホームホスピスという選択」
シンポジスト:栗山恵子・亀田浩子・大内真(ゆずの家主任)・杉本由起子(訪問看護認定看護師)
- 2016年12月3-4日 第5回ホームホスピス全国合同研修会「暮らしの中で“死にゆくこと” in 大阪」参加

《ホームホスピスに関わる助成金》

- ・2013年 広島大学マネジメント研究センター助成金を受け、「ホームホスピスにおけるケアの概念化(研究代表者:松原みゆき) この成果は「高齢者が死ぬまで生活できる場所ーホーム・ホスピスマろんの家の事例」, 広島大学マネジメント研究センター編:「連携による知の創造:大学院の新たな試み」, p163-165 (2013) に著した。
- ・2014年 公益財団法人 笹川記念保健協力財団ホスピス緩和ケアに関する研究助成(研究代表者:松原みゆき)
- ・2015年 公益財団法人 笹川記念保健協力財団ホスピス緩和ケアに関する研究助成「ホームホスピスにおけるケアの概念化ー新たなつながりの視点から」(研究代表者:松原みゆき)
- ・2016年 公益財団法人 笹川記念保健協力財団地域啓発活動助成(代表:栗山恵子)



*平成28(2016)年度、公益財団法人笹川記念保健協力財団地域啓発活動助成により作成しました。